

藝大レーベル Vol.1 プラス～第1弾推薦学生をもっと知るために

東京藝術大学との公式パートナーシップにより 2017年6月にローンチした藝大レーベル。

同大学音楽学部の各科から推薦された学生による配信第1弾「東京藝大音楽学部 推薦学生によるクラシックから純邦楽まで！現在（いま）聴くべき究極（9曲）！」が各音楽配信サイトで大好評頂いているのを受け、彼らのことをさらに良く知って頂くために、第1弾の音源と同時期に録音された未発表音源を配信いたします。

バッハの無伴奏ヴァイオリン作品、ハイドンの弦楽四重奏曲、リストのハンガリー狂詩曲、フランスの名作曲家たちによる管楽器の香しい作品たち、ブリテンの名チェロ組曲、ヴィラ＝ロボスのブラジルの詩、そして、箏の超絶技巧曲・・・！必聴です。

*本アルバムには、2017年5月21日現在、同大学卒業生の音源が含まれますが、録音は全て在学中に行われたものです。

[トラックリスト]

1. 無伴奏フルートのための小品／イベール
2. 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番 BWV1006 ～3. ロンド風ガヴォット／J.S. バッハ
- 3-4. 平均律クラヴィーア曲集第2巻 第14番嬰へ短調／J.S. バッハ
5. ロマンズ Op.36／サン＝サーンス
6. 瀬音／宮城道雄（※箏曲）
7. ハンガリー狂詩曲 S.244～ 第12番 嬰ハ短調／リスト
8. 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第3番ハ長調 BWV1005～3. ラルゴ／J.S. バッハ
9. ラルゲット(ホルンとピアノ編)／エマニュエル・シャブリエ
10. 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番ト短調 BWV1001 ～1. アダージョ／J.S. バッハ
11. 森にて／ウジェーヌ・ボザ
12. みだれ／八橋検校
13. ブラジルの詩～2. 吟遊詩人の印象／ヴィラ＝ロボス
- 14 - 17. 弦楽四重奏曲第38番変ホ長調 Op.33-2 「冗談」／ハイドン
- 18 - 26. 無伴奏チェロ組曲第1番 Op. 72／ブリテン

[アーティスト]

1. 大久保祐奈(フルート)
2. 岡本誠司(ヴァイオリン)
- 3-4. 崎谷明弘(ピアノ)
5. 庄司雄大(ホルン)、大野真由子(ピアノ*賛助演奏)
6. 村澤丈児(箏)、上遠野文音(十七絃)
7. 崎谷明弘(ピアノ)
8. 岡本誠司(ヴァイオリン)
9. 庄司雄大(ホルン)、大野真由子(ピアノ*賛助演奏)
10. 岡本誠司(ヴァイオリン)
11. 庄司雄大(ホルン)、大野真由子(ピアノ*賛助演奏)
12. 石本かおり、村澤丈児、上遠野文音(箏)、井本蝶山(尺八)
13. 崎谷明弘(ピアノ)
- 14 - 17. カルテット・アルパ
(小川響子<1st Vn>、戸原直<2nd Vn>、古賀郁音<Vla>、伊東裕<Vc>)
- 18 - 26. 伊東裕(チェロ)

[アーティストプロフィール]

大久保祐奈（フルート）



4歳よりピアノ、10歳よりフルートを始める。

京都市立京都堀川音楽高等学校を経て、東京藝術大学器楽科を首席卒業、同大学院音楽研究科修士課程を修了。学内にて安宅賞、アカンサス賞、三菱地所賞を受賞。平成20年から3年間、京都市教育委員会より表彰される。「世界に翔く若き音楽家たち」に出演、京都芸術祭奨励賞受賞。平成26年度、青山財団奨学生。藝大モーニング・コンサート、新卒業生紹介演奏会にて藝大フィルハーモニアと共演。

今までにフルートを幸協直人、中川佳子、小久見豊子、中務晴之、高木綾子、神田寛明、各氏に師事。室内楽を十亀正司、岡本正之、藤本隆文、伊藤恵、各氏に師事。

現在、兵庫県芸術文化センター管弦楽団コアメンバー。ぱんだウインドオーケストラ首席フルート奏者。フルートカルテット FEAMS、フルートトリオ ドソクキンシ メンバー。京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。

岡本誠司（ヴァイオリン）



1994年生まれ。東京藝術大学附属音楽高校を経て、東京藝術大学を2017年3月に卒業。

2014年7月、ドイツのライプツヒで開催された第19回J.S.バッハ国際コンクール ヴァイオリン・バロックヴァイオリン部門にて優勝。64年の歴史あるコンクールで、アジア人初の快挙となった。併せて聴衆賞も受賞。

2016年10月、ポーランドのポズナンで開催された第15回ヴィエニャフスキ国際コンクールで第2位に入賞。その後 ポーランド各地、ロシアのサンクトペテルブルクでの副賞ツアーで現地のオーケストラと共演。好評を博す。

3歳よりヴァイオリンを始める。小学生の頃よりコンクールに参加し、第60回全日本学生音楽コンクール小学校の部第1位、第2回宗次エンジェル・ヴァイオリンコンクール最年少入賞、カネッティ国際コンクール2009で最年少第2位と特別賞、2016年第6回仙台国際音楽コンクールにて第6位と聴衆賞を受賞など、上記以外にも多くのコンクールで成績を残している。15歳で初リサイタルを開催。

研鑽しながら演奏活動も活発に行い、国内外でソリストとして 協奏曲の独奏、無伴奏、デュオのコンサートを成功させる一方、アンサンブル・プレイヤー、コンサートマスターとしても優れた資質を発揮してきている。

ラフォルジュルネ・熱狂の日音楽祭(東京)、ラフォルジュルネ金沢、BACHFEST LEIPZIGなどの音楽祭にもソリストとして出演。2017年7月28日にはベルギーでのMUSICA MUNDIに出演する。

オーケストラとの共演は、国内では斎藤一郎／セントラル愛知、円光寺雅彦／中部フィル、横浜シンフォニエッタ、大井剛史・山下一史／千葉交響楽団、井上道義／アンサンブル金沢、海老原光／新日本フィル、広上淳一／仙台フィル、高関健／芸大フィルハーモニーなど。(敬称略)

メディアにはNHK 総合「ひるまえほっと」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、TOKYO -FM「サンデースペシャル」、OTTAVA 「LFJ2017 スペシャル」などに出演。

2015年度、2016年3月まで(公財)ロームミュージックファンデーション奨学生。またNPO法人イエロー・エンジェルよりG.F.プレセンダ(1827年製)の貸与を受け、(株)日本ヴァイオリンより名器貸与特別助成を受けている。

これまでに富川欽、中澤きみ子、Gérard Poulet、澤和樹の各氏に師事。大学内では、Pierre Amoyal、Herwig Zack、長原幸太の各氏のクラスに所属したほか、国内外のマスタークラスで多くの名ヴァイオリニスト、名伯楽に薫陶を受けている。

千葉県知事より顕彰、台東区文化・スポーツ奨励賞、東京藝術大学では東京藝術大学平山郁夫文化芸術賞、安宅賞、アカンサス賞を受賞。

崎谷明弘 (ピアノ)



1988年生神戸出身。6歳よりピアノを始め、ヤマハマスタークラス・兵庫県立西宮高校音楽科修了。幼い頃より兵庫県学生ピアノコンクール(B・D部門最優秀賞・県知事賞)、ピティナ・ピアノコンペティション(D級金賞/特級銀賞)、全日本学生音楽コンクール(中学校の部全国1位・野村賞)、第16回カラブリア国際ピアノコンクール第2位(1位なし)等、入賞を重ねる。

高校卒業後にヤマハ音楽支援制度奨学生として渡仏し、パリ国立高等音楽院入学以来卒業時まで一貫して満場一致での首席修了。在学中に第80回日本音楽コンクール第3位、第3回リヨン国際ピアノコンクールにて優勝。第15回松方ホール音楽賞受賞。

帰国後はロームミュージックファンデーションの奨学金を得て東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了し、クロイツァー賞・藝大クラヴィアア大賞・大学院アカンサス賞受賞。現在、同博士後期課程に在籍しコンクールの研究を行う。在学中、第59回ブゾーニ国際ピアノコンクール第3位(1位なし)、第18回サンタンデル国際ピアノコンクール入賞、第56回ハエン賞国際ピアノコンクール第1位優勝・併せてスペイン音楽賞と聴衆賞を受賞。2013年度青山音楽賞・新人賞、2014年度兵庫県芸術奨励賞、2016年度神戸市文化奨励賞受賞。

仏ノアン音楽祭、米ボストン大、第34回横浜市国際招待ピアノ演奏会に招聘されるなど、精力的なリサイタル・室内楽活動を展開。大阪交響、日本フィル、東京交響、日本センチュリー、PAC、神戸市室内合奏団、スペイン放送響等と共演多数。DPIC社より『ベートーヴェン ピアノソナタ全集 第1巻』『第2巻』『第3巻』、Naxos社からも『崎谷明弘ピアノリサイタル』CDリリース。指導者としてヤマハマスタークラス九州の講師も務める。

これまでにピアノを渡辺純子、鳥居知行、C. ソアレス、荒木美佳、J. ルヴィエの各氏に、現在、迫昭嘉氏に師事。室内楽をT.

パラスキベスコ、D. オヴオラの各氏に、楽曲分析・ソルフェージュを若林千春・横田秀孝の各氏に師事。

庄司雄大 (ホルン)

宮城県仙台市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同大学モーニング・コンサートにおいてソリストとして藝大フィルハーモニアと共演。オーディション合格者による室内楽定期演奏会出演。第86回読売新人演奏会出演。第3回日本ホルンコンクール第2位。これまでにホルンを、須田一之、日高剛、西條貴人、伴野涼介の各氏に師事。

現在、東京藝術大学音楽学部管弦楽研究部非常勤講師(藝大フィルハーモニア管弦楽団 首席ホルン奏者)



村澤丈児（箏）



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校邦楽科生田流箏曲専攻卒業。同大学卒業 安宅賞受賞、青山財団奨学生に選ばれる。卒業時、アカンサ音楽賞受賞、皇居内桃華楽堂にて御前演奏を務める。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。大学院アカンサ音楽賞受賞。現在同大学大学院音楽研究科博士後期課程に在学。都山流尺八を、藤原道山師に師事。生田流箏曲、三絃を、池上眞吾師に師事。宮城胡弓、笙を、村澤かをり師に師事。宝生流謡曲、仕舞を、故三川泉師（人間国宝）、武田孝史師に師事。一噌流能管を、一噌仙幸師（人間国宝）に師事。

2006年・・・平成18年度宮城道雄記念箏曲コンクール 一般部第二位（一位なし）

東京箏ジュニアアンサンの一員として、フランス公演に参加。オランダユトレヒト音楽祭に参加。

2007年・・・八橋検校日本音楽コンクール 中学生以下独奏部門 第一位（箏）同アンサンブル部門 第一位（尺八）。

JML入野義朗音楽研究所主催 日独青少年交流コンサートに参加、ドイツ各地にて演奏。

2010年・・・都山流尺八准師範 東京検定試験 主席合格。

2011年・・・ウラジオストク・ビエンナーレに参加。

2013年・・・平成25年度宮城道雄記念箏曲コンクール 一般部第二位（一位なし）。

2014年2月・・・フランス、エクス=アン=プロヴァンスにて BALLET PRELJOCAJ の公演に参加。

2014年・・・都山流尺八師範 宮城検定試験 主席合格。

2014年・・・利根英法記念邦楽コンクール奨励賞（三位）。

「千代美会」副会主「真樹の会」会員。

「千宝会」「白寶會」に所属。

「アンサンブル室町」「男で地歌」「ゆる人」同人。

日本・ウラジオストク協会音楽部「ガルモニア」会員。

伝統芸能国際化協会会員、邦楽グループ「互」メンバー。

市川猿之助主演「スーパー歌舞伎Ⅱ 空ヲ刻ム者」BGM、

吉永小百合朗読CD「第二楽章 福島への思い」BGM他、多数の録音に参加。

上遠野文音（箏、十七絃）

父、上遠野衛（琴古流尺八奏者）と母、西谷しのぶ（生田流箏曲宮城社大師範）のもと、2歳より生田流箏曲を学ぶ。

東京藝術大学大学院卒業。宮城会教師。森の会会員。一般社団法人「伝統芸能国際化協会」在籍。和楽器演奏集団「互 -tagai-」メンバー。東京都公認ヘブナーアーティスト。鶴見区民文化センターサルビア・アーティスト。



1997年 第32回宮城会箏曲コンクール 児童の部 一位

2003年 宮城道雄記念コンクール（宮城会箏曲コンクールより改名）一般の部 一位（歴代最年少、14歳）

2006年 フランス大使館などの後援による「日仏芸術文化協会派遣・日仏子ども音楽隊フランスコンサート」においてのソリストを務める

2008年以降 私立聖ヨゼフ学園中等部の音楽の授業及び部活動において、技術指導補佐を行なう

2014年 東京藝術大学 音楽学部邦楽科 箏曲生田流専攻を卒業

皇居内桃華楽堂にて催される「音楽大学卒業生による演奏会」において、卒業生代表として皇后陛下の御前で演奏する栄誉を賜る

2015年 成田空港において、箏曲体験指導及びデモンストレーションを行なう

2016年 東京藝術大学大学院 音楽研究科 生田流箏曲専攻 修士課程を卒業

卒業論文では『現代の「手ほどき」における入門書の在り方の一考察』と題し、30冊近くの箏曲入門書を扱う

一般社団法人「伝統芸能国際化協会」の事務局に就任。和楽器演奏集団「互 -tagai-」の1stアルバム制作、および結成記念コンサートの統括を行なう（現在は退任）

ヘブナーアーティストオーディション音楽部門合格。東京都の公認する路上パフォーマンスアーティストとして活動準備を行なう

箏曲初心者を主な対象としたワークショップやコンサートを行なう「えんがわ企画」を立ち上げる。

現在は個人、ユニットでの演奏活動を行なうほか、「一億人でさくらさくらが弾ける日本」をテーマに、主に箏曲初心者を対象とした演奏企画を開催。伝統楽器としての箏の在り方と、現代日本人の感性を繋ぐことに注目したワークショップは、箏と演奏者を身近に感じることが出来ることと好評。

石本かおり（箏）



東京都出身。

6歳より箏を、高校生より地歌三絃を、叔母深海さとみに師事。

2008年、日仏青少年文化交流に参加。

2012年、IMF世界銀行年次総会2012レセプションにて演奏。

2014年、東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業。在学中、宮城賞と同声会賞を受賞。同大学同声会新人演奏会に出演。宮内庁主催皇居内桃華楽堂にて御前演奏を務める。「第二屆 弾抜音楽節」(中国中央音楽学院主催)に参加。

2015年、英国王立音楽院にてワークショップおよび、在英国日本国大使館にて演奏。

2016年、東京藝術大学大学院音楽研究科邦楽専攻修士課程修了。市川市文化振興財団第29回新人演奏家コンクール邦楽器部門において優秀賞受賞。

2017年、利根英法記念邦楽コンクール第3回古典「箏曲地唄」一般の部において最優秀賞受賞。

宮城社教師。深海邦楽会・森の会・同声会、各会員。一般社団法人 伝統芸能国際化協会 和楽器演奏集団「互-tagai-」メンバー。

井本蝶山<本名：井本早紀>（尺八）



10歳より都山流尺八を永廣孝山師に師事。12歳で准師範試験に、15歳で師範試験に史上最年少で登第。

'08年 オーストラリアで行われた国際尺八フェスティバルの尺八世界大会優勝。

'09年全国高校生邦楽コンクール優勝。同年、NPO法人 JML 音楽研究所主催の日独青少年交流コンサートの一員として3週間ドイツ各地で演奏。

'11年 ロシアで行われたウラジオストク・ビエンナーレにて演奏。

'12年 現地との文化交流のため南インド各地で演奏。

'14年 国際交流基金実施の学生クリエイター交流事業 KAKEHASHI プロジェクトの一員としてNYなど北米各地でプレゼンテーションや演奏を行う。

'16年 NPO法人 若い芽を育てる会特別賞受賞。自身初のリサイタルを開催。ロシアのモスクワ、サンクトペテルブルクにて多数公演。丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2016のフランツとして一連のコンサート出演。

東京藝術大学附属高校を経て、'14年同大学音楽学部邦楽科都山流尺八専攻卒業。卒業時に同声会賞受賞、皇居桃華楽堂にて御前演奏を務める。'16年同大学大学院音楽研究科修士課程修了。国内外で演奏活動を行う他、学校公演やワークショップ、尺八教室など教授活動にも力を入れている。

南禅寺 独秀流南禅教会音曲担当。都山流尺八 菖友会講師。カレッジ神戸尺八講師。日本三曲協会会員。邦楽アンサンブルみやこ風韻メンバー。

カルテット・アルバ



2013年に東京芸術大学で結成。

和光大学ポプリホール鶴川で若き演奏家による「水曜午後の音楽会」、芸大定期「室内楽」、富山室内楽フェスティバル、サントリーホールチェンバーミュージックガーデン、六花亭コンサートなどの演奏会に出演。日本を代表するピアニスト、若林 顕氏との共演、学校でのアウトリーチ活動を行うなど、様々な演奏活動に取り組んでいる。

2015年夏には、イギリス湖水地方音楽祭、ISA(International Summer Academy)に参加。

バンフ国際弦楽四重奏コンクール2016にて、Career Development Awardsを受賞。

これまでに、川崎和憲、上森祥平、川本嘉子、山崎貴子、西野ゆかの各氏に師事。

また、堤剛、岡山潔、原田幸一郎、池田菊衛、磯村和英、カルテット・エクセルシオの各氏に指導を受ける。

サントリーホール室内楽アカデミー第三期を修了。

[カルテット・アルバ/メンバー・プロフィール]

1st ヴァイオリン：小川 響子

第10回東京音楽コンクール 弦楽部門第1位、及び聴衆賞を受賞。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール2015第1位。東響、新日本フィル、東京フィル、日本フィル、都響をはじめ、オーケストラと多数共演。また、アンネ・ゾフィ・ムター氏、小澤征爾氏とソリストとして共演。サイトウ・キネン・オーケストラに参加。東京・春・音楽祭、ラフォルジュルネ・オ・ジャポンなどの音楽祭に参加。ソロ、室内楽、オーケストラをはじめとする様々な分野で積極的に活動している。

現在、東京芸術大学大学院修士課程在学中。これまでに、塩谷峰子、西和田ゆう、原田幸一郎、漆原朝子、松原勝也、堀正文の各氏に師事。サントリーホール室内楽アカデミー 第3期、第4期フェロー。2017年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。

2nd ヴァイオリン：戸原直

東京都八王子市出身。東京芸術大学音楽学部を卒業、同大学大学院を修了。

東京芸術大学音楽学部在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞を受賞。

2012年第17回コンセール・マロニエ21弦楽器部門第1位。デザインK国際音楽コンクール2012全部門グランプリ第1位。2016年にBISQC(Banff International String Quartet Competition)に参加し、Career Development Awards を獲得。

東京芸術大学にてB.ケレメン、M.マルティン、R.ホーネック、ライプツィヒ・カルテット、ジュリアード・カルテット各氏によるマスタークラス受講。

リゾナーレ室内楽セミナーに参加し、奨励賞、音楽賞を受賞。小澤国際室内楽アカデミーに参加。第227回世田谷美術館プロムナードコンサート、JT が育てるアンサンブルシリーズ、東京藝大定期室内楽、旧奏楽堂木曜コンサート出演。東京藝大モーニング・コンサートでソリストとしてシューマンのヴァイオリン協奏曲をオーケストラと協演。

これまでにヴァイオリンを柴田裕子、七澤清貴、齋藤真知亜、漆原朝子、漆原啓子、徳永二男、E.ペレーニ、玉井菜採、堀正文の各氏に師事。ヴィオラを川崎和憲氏に師事。

平成26年度青山財団奨学生。紀尾井シンフォニエッタ東京2015-2016シーズン・メンバー。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。現在、藝大フィルハーモニア管弦楽団コンサートマスター。

ヴィオラ：古賀郁音

5歳よりヴァイオリンを、15歳よりヴィオラを始める。

第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第三位、第13回大阪国際コンクールアンサンブル部門第二位。

藝大学生による木曜コンサート、藝大定期室内楽、馬車道コンサート、サントリーホールチェンバーミュージックガーデン、とやま室内楽フェスティバルなどに出演。東京芸術大学附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部、同大学院修士課程ヴァイオリン専攻を修了し、現在ベルリンハンズアイスラー大学にてヴィオラを学ぶ。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。

これまでにヴァイオリンを石橋敦子、浦川宜也、漆原朝子、松原勝也の各氏に、ヴィオラを川崎和憲、市坪俊彦、Walter Küssner の各氏に、室内楽を大友肇、川本嘉子、澤和樹、松原勝也、山崎貴子、山本裕康の各氏に師事。

チェロ：伊東裕

奈良県出身。日本音楽コンクール チェロ部門第1位受賞、徳永賞受賞。これまでに長岡京室内アンサンブル、関西フィル、日本センチュリー交響楽団、神戸市室内合奏団、藝大フィル他オーケストラと協演。

小澤国際室内楽アカデミー、音楽塾オーケストラ、また中之島国際音楽祭、いこま国際音楽祭、武生国際音楽祭、ムジークフェストなら、北九州国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等に参加。NHK-FM リサイタル・ノヴァ、クラシック倶楽部などに出演。

藝大にて福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。

これまでに齋藤建寛、向山佳絵子、山崎伸子、中木健二各氏に師事。

東京芸術大学音楽学部を首席で卒業、同大学院音楽研究科修士課程に進学し、現在ザルツブルクモーツァットウム音楽院にてエンリコ・ブロンツィ氏に師事。

ヤマハ音楽支援制度2011年度奨学生。(公財)青山財団2014年度奨学生。(公財)ローム音楽財団2017年度奨学生。



伊東裕 (チェロ)

奈良県出身。日本音楽コンクール チェロ部門第1位受賞、徳永賞受賞。これまでに長岡京室内アンサンブル、関西フィル、日本センチュリー交響楽団、神戸市室内合奏団、藝大フィル他オーケストラと協演。小澤国際室内楽アカデミー、音楽塾オーケストラ、また中之島国際音楽祭、いこま国際音楽祭、武生国際音楽祭、ムジックフェストなら、北九州国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等に参加。NHK-FM リサイタル・ノヴァ、クラシック倶楽部などに出演。

藝大にて福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。

これまでに斎藤建寛、向山佳絵子、山崎伸子、中木健二各氏に師事。

東京藝術大学音楽学部を首席で卒業、同大学院音楽研究科修士課程に進学し、現在ザルツブルクモーツァルテウム音楽院にてエンリコ・ブロンツィ氏に師事。

ヤマハ音楽支援制度 2011 年度奨学生。(公財)青山財団 2014 年度奨学生。(公財)ローム音楽財団 2017 年度奨学生。